

滋賀文教短期大学 卒業生に関する就業状況調査（2017年度卒業生 就業先対象）

令和元(2019)年10月
滋賀文教短期大学

目的: ・職業安定法に基づいて「就職後6ヶ月以内の離職状況」を調査するため
・今後の本学の進路支援・教育内容の質の向上のため

対象: 平成29(2017)年度 本学卒業生の就業先事業所

方法: 卒業生の就業先へ配属先の事業所ごとに郵送し、返信用封筒にて回収

時期: 平成30(2018)年 10月

件数:

	発送	返送	返送率
国文学科	11	8	72.7%
子ども学科	36	33	91.7%
計	47	41	87.2%

(返送数は調査年12月26日現在)

質問: ○回答者の方の情報(事業所名、所属、役職、氏名)
○対象の卒業生の在職状況(退職の場合は退職日)

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

- 1.論理的思考力（具体的根拠を基に考えたり議論したりする力）
- 2.事務処理能力（文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力）
- 3.基礎学力（短期大学卒業程度の学力、一般常識）
- 4.専門知識・技能（専門分野についての豊富な知識）
- 5.対人能力（議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力）
- 6.課題解決力（自ら課題を発見し、取り組み、解決する力）
- 7.主体性・自立性（すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力）
- 8.成長意欲（入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力）
- 9.リーダーシップ（他人を巻き込んで、物事に取り組む力）
- 10.その他（自由記述）

B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

- (1)仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力
- (2)課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力
- (3)他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力
- (4)職場で適切な議論をする力
- (5)時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー
- (6)文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力
- (7)短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力
- (8)ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能
- (9)子どもや保護者との関わり等における対応力
- (10)子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力
- (11)教育者・保育者としての使命感・倫理観

評価: 1.秀 2.優 3.良 4.可 5.不可

※評価目安:満点を100点としたとき、秀100～81点、優80～61点、良60～41点、可40～21点、不可20～0点

C.その他、お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いいたします。

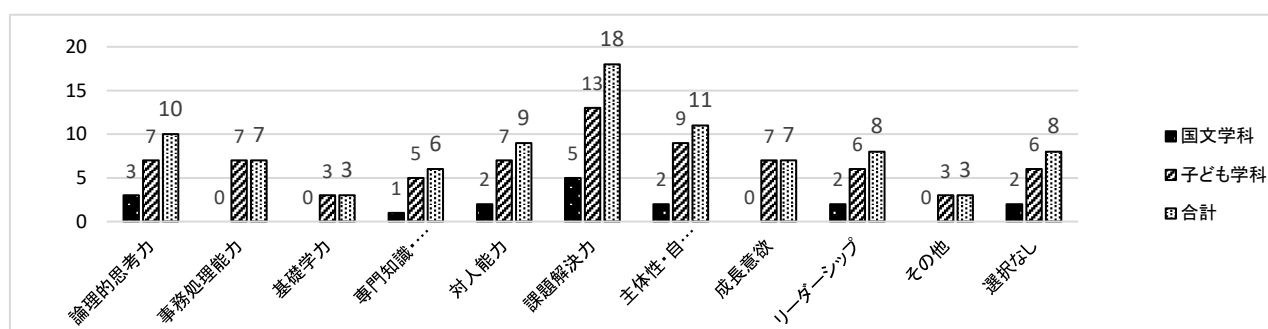
実施後: ・本学ホームページ上で卒業生に関する就業状況調査の集計結果を公表
・本学ホームページ上で正規のうち6ヶ月以内の離職状況を公表
・集計結果をふまえ、学内の進路支援および教育内容の改善を検討する

滋賀文教短期大学 就職先アンケート 集計結果 (2017年度卒業生 就業先対象対象)

平成30(2018)年12月26日現在

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	評価項目詳細	国文学科	子ども学科	合計
1	論理的思考力	具体的根拠を基に考えたり議論したりする力	3	7	10
2	事務処理能力	文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力	0	7	7
3	基礎学力	短期大学卒業程度の学力、一般常識	0	3	3
4	専門知識・技能	専門分野についての豊富な知識	1	5	6
5	対人能力	議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力	2	7	9
6	課題解決力	自ら課題を発見し、取り組み、解決する力	5	13	18
7	主体性・自立性	すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力	2	9	11
8	成長意欲	入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力	0	7	7
9	リーダーシップ	他人を巻き込んで、物事に取り組む力	2	6	8
10	その他	自由記述	0	3	3
*	選択なし	特に改善点がないとみなされ、選択がなかったケース	2	6	8



・改善点なしという評価は、8名に対していただけました。また、3つ未満しか選択されていないケースもあった。
 ・課題解決力について課題だと挙げられたケースが両学科ともに最も多い。次いで、主体性や自立性に関する評価が芳しくなかった。

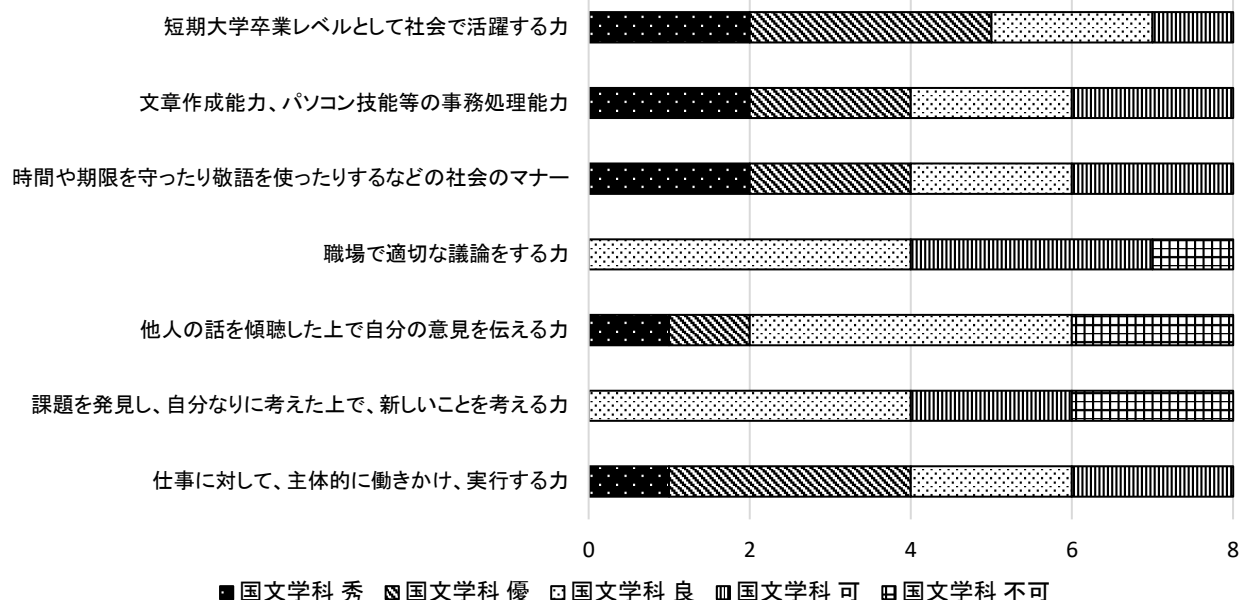
B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	国文学科					子ども学科					合計 回答数
		秀	優	良	可	不可	秀	優	良	可	不可	
1	仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力	1	3	2	2	0	2	12	8	9	1	40
2	課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力	0	0	4	2	2	3	5	9	11	4	40
3	他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力	1	1	4	0	2	3	7	11	11	0	40
4	職場で適切な議論をする力	0	0	4	3	1	0	5	12	11	4	40
5	時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー	2	2	2	2	0	6	11	8	5	2	40
6	文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力	2	2	2	2	0	2	6	14	7	3	40
7	短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力	2	3	2	1	0	3	9	12	8	0	40
8	ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能	/					0	3	7	11	0	21
9	子どもや保護者との関わり等における対応力						2	4	8	7	1	22
10	子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力						1	3	9	8	1	22
11	教育者・保育者としての使命感・倫理観						2	7	3	9	1	22
合計		8	11	20	12	5	24	72	101	97	17	

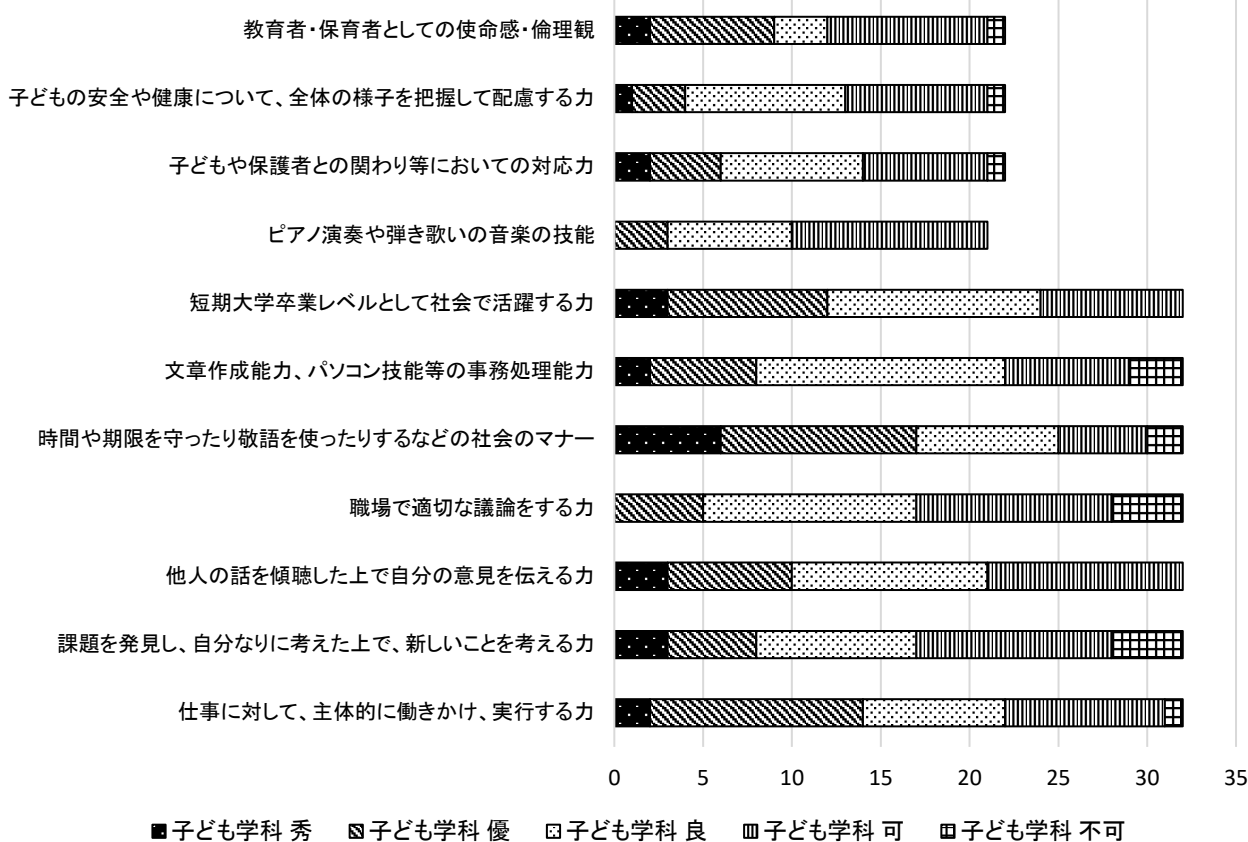
*No.8は、1件不明と回答があったため、No.9~11と合計回答数が異なる。

(次ページに続く)

B.本学卒業生の評価（国文学科）



B.本学卒業生の評価（子ども学科）



・国文学科では「職場で適切な議論をする力」が総合的に最も低い。一方、「短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力」や「文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力」は比較的高評価だった。
 ・子ども学科では、「ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能」が最も低い。評価が高い項目は、「時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー」、「短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力」である。

以上